

# 一般質問 10人が市政を問う



4 番

今井政嘉議員

## 150万人観光客誘致について

①ゴールデンウィーク期間中の市内観光客入込状況について

### ◆観光商工部長

GW中の入込客数は、宿泊も含め良かったと聞いています。臨時観光案内所を設け、街歩きを誘発する取り組みとして、スタンプラリーやアンケートを行いました。地道な活動を誘客宣伝につなげてきたことが大切と考えています。

②外国人観光客が増加している中、市内各地WiFi環境等整備は進んでいるのか。

### ◆観光商工部長

国の地方創生の事業を活用して、設置に対する補助金を計上しており、旅館組合や商工会など関係者と協議して進めます。

③長時間滞在型の観光戦略について

### ◆観光商工部長

街歩きを誘発するような街づくりについては、下呂温泉観光協会において、観光のプラットフォームを整備し、ハード・ソフト両面から、市全体の活性化を図る内容の報告書をいただいております。

た方向性を基に事業化を進めていきます。

④地域のイベントをより効果的に告知し、元気な下呂市づくりを

### ◆観光商工部長

市のホームページはリニューアルされ、従来よりも、タイムリーに情報発信ができるようになりました。引き続き運用面で、満足のいただけるものへとレベルアップを図ります。

## 森と清流を次世代へつなげる為に

①今年は、雪により多くの箇所で行き止まりとなった。緊急的に撤去されているが、市内山林の状況調査を行っているのか。その対応は進められているのか。

### ◆農林部長

被害状況は、道路被害、山林被害など64カ所と認識しています。51カ所は地元の方々と職員で除去、13カ所は県の事業や業務委託などで対応する予定です。

②清流を活かしたまちづくりについて、今後どのように取り組まれているのか。

### ◆観光商工部長

市民憲章には「森と清流と温泉を宝とし次の世代へつなげよう」とあります。旅行者の方に満足いただけるような観光資源となるよう、更に磨きをかけていきます。



9 番

一木良一議員

小坂町大島線・大島1号線・大島谷橋梁整備工事の早期着手を計画の進捗状況について

### ◆建設部長

平成28年度に大島第2踏切の拡幅工事を行う予定です。大島谷の橋梁新設工事については、踏切拡幅工事が完了した後に、検討します。

## 庁舎統合整備案否決を受けて

### ◆市長

合併時の「煌」に基づいて新庁舎整備一本化の公約を掲げました。新庁舎整備検討委員会より報告書をいただいて、12月議会でも旧下呂温泉病院の跡地で庁舎一本化の方向性を示しました。1月に市内15カ所ですべて説明会を行ない、3月定例会に条例改正案を出しましたが否決されました。手順を踏んで説明してきたつもりでしたが、市民の皆さん、議会の皆さんに充分な理解が得られませんでした。私の説明不足であったと思います。しかし課題は残っています。

一本化はできなくても庁舎・振興事務所の耐震性がない、老朽化しているという課題があります。将来世代の負担を大きくしないためにも、合併特例債を使っていかなければなりません。今までの経緯や反省を踏まえ、庁舎・振興事務所を整備を議論しながら進めていかなければなりません。

## 実効性ある移住・定住促進策、空き家対策について

具体的な施策の中味と効果とは

### ◆経営管理部長

関係機関と連携し、東京・大阪・名古屋で開催した就業就業相談会、移住相談会等の結果、本年度以降に13名が下呂市で新規に就業されます。

移住定住促進事業として、地方へ新しい流れを作るU・I・Jターンの方々を対象に、家賃や住宅購入費に助成をする制度を4月から始めております。これらの支援制度を利用していただき、就業も含めて多くの方々に下呂市へ移住していただくように考えています。





5 番  
各務吉則議員

## 第二次総合計画における27年度の まちづくりについて

①振興事務所のあり方について、今後施設と組織機能はどの様に考えられているのか。

### ◆総務部長

市内5箇所の振興事務所は存続し、総合的な窓口業務と地域づくりの拠点という大きな2つの業務を担います。萩原振興事務所は、星雲会館との機能統合に向け調査を行っています。馬瀬振興事務所は他の既存施設の活用を検討しています。下呂振興事務所は下呂庁舎と市民会館とで分散しているもので、今後のあり方を検証しています。金山振興事務所は既存の建物をそのまま活用します。小坂振興事務所は、現状の場所でもコンパクトな振興事務所の建て替えを検討しています。

## 御嶽山における登山とスポーツ・ 観光について

①濁河地区までの県道の改良の進捗状況と対策は

### ◆建設部長

今年度県道 落合飛騨小坂停車場線は、県道 御岳山朝日線との交差点改良に着手されるほか、側溝の整備や防護柵の設置工事を、県道 御岳山朝日線は、約390mの改良工事が実施されます。

②濁河地区における宿泊施設、空き家施設などの対策は

### ◆小坂振興事務所長

濁河温泉地区には現在15軒の建物が建っており、その内宿泊施設が5軒、その他の施設が3軒空家となっています。所有者がわかっている建物については、適正管理をお願いしています。

④パノラマグラウンドと高山市におけるエリアの連携について

### ◆経営管理部長

高山市、岐阜県などで組織する飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア推進協議会を中心に、各種関連事業の取り組みを進めています。今年8月北京で開催される世界陸上では、イギリス・アメリカチームの事前合宿も内定し、その準備を進めています。

⑤公衆無線LAN環境の整備について

### ◆経営管理部長

エリアのインターネット環境改善に向けて、通信事業者に強く要望していきます。



8 番  
伊藤 厳 議員

## 旧下呂館解体について

①解体に伴う費用について

### ◆総務部長

旧ホテル下呂館の解体費用は、工事費が1億4千40万円、監理業務が156万6千円、合計で1億4千196万6千円です。

②跡地利用について

### ◆経営管理部長

旧ホテル下呂館、旧下呂温泉病院の跡地利用は、これまで長年にわたり検討・研究してきたものを基に、実施に向けた計画づくりを、国の「地域再生戦略交付金」を活用し、来年1月を目途に策定します。これらの市有地を活用し、観光・物産等の情報発信の拠点として下呂市全体のプラットフォームとなる機能を持った新たな産業振興の拠点づくりと、下呂市全域の活性化、雇用の創出を積極的に進めるための仕組みづくりなど、ハード・ソフトの両面から検討していきます。

## 新庁舎整備計画の否決を受けて

①執行部の総括

### ◆市長

結論を急がざるを得なかったのは、財政問題で合併特例債の期間がきれる30年度までには方向性を出さなければならなかったからです。説明が不十分で市民の皆さんの議会の皆さんにご理解いただけなかったことは不徳であったと思っています。しかしこれで問題が解決した訳ではなく、老朽化し耐震性のない庁舎・振興事務所問題を解決していくのが、私と議会の責任であろうと思っています。

②今後の基本方針と計画について  
・振興事務所の今後のあり方について

### ◆総務部長

現在振興事務所で行っている一部の業務を本課へ集約するため、その分、現在の各振興事務所の職員数よりも減少します。ただし、非常時における防災体制については、圏域が広い下呂市の実情に鑑み、各振興事務所を核とした地域支部体制を維持する仕組みづくりを進めます。

・農林、土木部門の下呂総合庁舎への移転について

### ◆総務部長

萩原庁舎と星雲会館の機能統合を計画しており、スペース的にも限界があるため、県行政との繋がりが深い農林部と建設部を下呂総合庁舎へ移転する計画です。